

# 診断あきた

◆発行 社団法人 中小企業診断協会 秋田県支部  
郵便物受取先  
〒010-8799 秋田市保戸野鉄砲町5-1  
郵便事業株秋田支店 私書箱第25号  
ホームページアドレス <http://www.shindan-akita.com/>



平成22年9月4日

## 第18号

## 巻頭言



### 『事業仕分けは好機到来』

支部長 工藤 義和

この度、支部会報18号の発刊に当たり関係支部会員の方々のご苦勞に対し、あらためて感謝いたします。申すまでもなく、会報は我々支部会員の絆を深耕するための貴重な媒体であり、引き続き会員皆様の活発なご投稿が期待されます。

これを機に、去る7月4日の「全国支部長会議」の状況についての概要を、ご報告したいと思います。

今回の会議においては、特に政権交代したことによる「事業仕分け」の対象に、我々の協会が浮上しているとの情報があり、協会の公益法人としての存立に係わる問題として、その対応についての協議に、時間の

大半が費やされました。

そもそも我々の協会は、会員の会費徴収により運営されており、国庫からの補助金に依存していないことから、「事業仕分け」にはいささか違和感を覚えるところですが、間接的に、国の中小企業対策または施策に係わって、国家予算の運用に係わっていること、また中小企業診断士という国家資格の認定試験の業務を受託していることから、協会存在の必要性を吟味されるという事情にあるようです。

現在、所轄官庁である中小企業庁はじめ諸機関の協力を得て、対応策を模索しているものと思われます。

このような状況から、我々の当面の対策としては、資格を持ちながら協会に加入していない人たちの加入を促進し、協会の存在感を高めること、関係中小企業から中小企業診断士としての評価の向上が得られるよう、相応の努力をすることが求められるでしょう。終わりに、会員皆様のますますのご活躍を祈念して、会報発刊の挨拶と致します。

## 平成22年度 理論政策登録更新研修事業

秋田県支部の平成22年度理論政策登録更新研修は、平成22年9月4日(土)、午後1時から5時迄の4時間、秋田市の「秋田県中央シルバーエリア 多目的ホール」で、開催致します。

必修科目である「新しい中小企業政策について」は、関根浩一秋田県産業労働部次長を講師に迎え、昨今の劇的な環境変化の中での中小企業振興策について、多くの具体例を交えた講義を頂きます。

同じく必修科目である「診断に関する理論及びその応用」では、農商工連携事業や本県では事業転換先として捉えられることの多い「農業経営支援」を選択し、山下義(ただし)中小企業診断士を講師に迎え、事例に基づく実践的な講義を頂きます。

研修終了後、有志による講師を囲んでのフォロー研修を、活発に行なう予定です。

# 平成22年度 通常総会

平成22年5月22日(土)、午後4時より、秋田市内の「比内や」において、(社)中小企業診断協会秋田県支部の平成22年度通常総会が開催されました。

会員26名の内、17名(内委任状出席5名)の出席を得て、工藤義和支部長が議長席につき、定刻に会議は開催されました。

会議に先立ち、工藤義和支部長は、業務多忙の折の総会への参加に感謝を表し、今後の円滑な事業運営への協力を求めました。

引き続き議案審議に入り、「第1号議案 平成21年度事業会計及び決算承認」「第2号議案 平成22年度事業会計及び予算承認」について総会に諮り、全員異議なく、満場一致で可決承認しました。

事業運営について、理事会において“使えるホームページ”の構築を求める意見が提起され、HPのリニューアルに向けて、HP委員会で具体的検討を行なうこととされました。

また、(社)中小企業診断協会秋田県支部や中小企業診断士制度のPRのため、商工関連支援団体等へのPRを兼ねて、公益目的事業を3～5回のシリーズで行うことと致しました。

総会終了後、新たな飛躍への挑戦を肴に、和やかな

意見交換が行われました。

なお、平成22年度の主な事業は、次のとおりです。

## 【平成22年度における主な支部事業】

- (1)中小企業診断士登録更新研修(理論政策更新研修)の実施  
H22・9/4(土)開催
- (2)調査・研究事業の実施  
スポーツビジネスと地域振興  
調査研究事業委員会・偶数年度班(班員9名)対応。
- (3)広報活動の強化・充実  
会報の発行やホームページのリニューアルにより、積極的な情報提供を行う。  
・支部会報の発行(年1回 No.18)  
・支部ホームページのリニューアル(随時)
- (4)支部研修の実施  
H22・11/27(土) 15:00~17:00(予定)
- (5)公開セミナー(公益目的事業)の実施  
プロジェクトチームを立ち上げ、事業推進を行う。
- (6)支部郵便物受取先一元化  
〒010-8799 秋田市保戸野鉄砲町5-1  
郵便事業秋田支店 私書箱第25号

## ●●● 転勤の挨拶 ●●●



日本政策金融公庫 秋田支店  
中小企業事業 石垣 哲矢

この度、8月1日付けで東京審査第1室への異動が決まり、秋田支部を去ることとなりました。

秋田での3年半は、秋田支部の先生方をはじめ、

多くの人と出会い、様々なことを学ばせていただきました。

特に調査研究事業に参加させていただいたことは、良い経験になりました。

今後も目標に向かって、秋田での経験を糧に、新天地でより一層頑張っていきたいと思っております。

短い間でしたが、誠に有難うございました。

## 支部設立25周年記念事業が開催されました

(社)中小企業診断協会秋田県支部は、平成22年3月13日、「(社)中小企業診断協会秋田県支部創立25周年記念事業」を開催致しました。

記念事業は、大きく第1部の「記念講演」と第2部の「記念式典」の構成と致しました。第1部の「記念講演」では、県内中小企業診断士や商工支援機関職員のみならず、一般県民の方からの参加も頂き、40名余の

聴講がございました。

講演内容は、これまでの調査研究事業から、「アグリビジネスの現状」(講師 高橋彦会員)、「フィルムコミッションと観光振興」(講師 荒牧敦郎会員)の2事例について、今日的意義を加えての講演が行われました。また、外部講師として、韓国ドラマ「アイリス」の秋田県内誘致に多大の功績を示した(有)妙乃湯代表

取締役社長 佐藤京子氏を講師に迎え、「“もってなす”のおもてなしの心」の確とした御講演を頂きました。

第2部の記念式典は、来賓に柴田誠秋田県産業労働部次長(現部長)、高橋浩樹(独)中小企業基盤整備機構東北支部経営支援部長、田中幸雄(財)あきた企業活性化センター専務理事、栗谷侑志秋田県信用保証協会常勤理事、佐藤貞治秋田商工会議所専務理事を迎え、工藤支部長の挨拶に続き、新井信裕(社)中小企業診断協

会長の祝辞、宮健(社)中小企業診断協会岩手県支部長の乾杯の音頭と続き、25年の長きに亘る歴史を振り返りました。

また、秋田県支部に在籍し、県外に転出なさった方6名の方からは、暖かい激励の言葉を頂きました。体調不良等により退会された県内在住会員の方3名の方からも祝意が届けられ、会員一同力づけられました。

御支援の程、有難うございました。

\*\*\*\*\*

## 連載

### 『般若心経とは』 ～その7～

中小企業診断士

樋口清行



見えぬけれどもあるんだよ

金子みすず童謡集の「星とたんぽぽ」という歌に、「青いお空の底深く、海の小石のそのように、夜がくるまで沈んで、昼のお星は目に見えぬ。見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ。散ってすぐれたたんぽぽの、瓦のすきに、だまって、春のくるまでかくれて、つよいその根は眼にみえぬ。見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ。」という詩がある。浄土宗系では般若心経は唱えないが、やはり空観に基づいて教義体系を構築している。時宗の開祖一遍上人は、空ということは、見えない世界からきて見えない世界に帰ることだと述べている。では空ということを経験的に定義するとどうなるか、多分プラズマ状態のことを指す。電気的に＋を持つ粒子が同密度に分布して、高い通電性と特有の振動を生じて、気体、液体、固体とは異なった物性を示す物質の第4の状態、例えば真空放電、電離層、太陽恒星の内部・外気、星間物質などが挙げられる。物理的に死後の状態を説明できるとすれば、焼却された体から分散した分子がこうした流動性に満ちた本来の物質の状態に帰っていくということになる。

我々が見えている世界というのは氷山の一角で、我々の日常の認識能力は、第3物質までの現象世界における働きに限定されているが、縁起の理法、無自性、空を覚知した古仏たちは、時空を超えた世界を往来して未来を予知し人の前世を観て、限定性を超えた見えない世界からの波動を感知できていたのかもしれない。釈迦の弟子十六大阿羅漢連中は衆生の驚愕を引き起こすので、力を使うことは戒められていたが皆超能力を兼ね備えていた。生物の生命維持プログラムの根底に、

本来の霊性、仏性と呼ぶべきものが備わっていて、全ての人類がこの潜在能力を有しているが、顕在化しようとする働きに影を落とし妨げているのが、無明を基軸として働く五感の意識作用により後天的に形成される自我意識であると釈迦は指摘しているのである。

ジェームス・キャメロン監督の話題作「アバター」という映画は、超伝導物質を獲得するために、無秩序な惑星開発を行おうとする巨大資本に翻弄される人類のエゴイズムに対して、住民の文化を守ろうとする葛藤が描かれている。「惑星パンドラ」は、食物連鎖にある多様な生物がこの星の創世のシンボルである神聖な「生命の木」を頂点として、集約される生態系を維持する精妙なシステムを持ち、星の住民ナビは皆テールを使って「生命の木」とリンクして、亡き先祖累代の声を聞き取ることができるばかりではなく馬の手綱を用いるように、他の有情の生物と相互の意識を一体化させて感応道交しあうことができるのである。この映画は人類が希求する「共生する命」の本源の世界を、CGで顕現させ見事な映像美でもって描いており、貪りとエゴイズムに汚染された現代文明の克服を訴えている。この映画のセリフの中に、「命のエネルギーは借りたものである、借りたものはいつか返さなくてはならない。」という対話がある。「千の風になって」という歌詞には「私の墓の前で泣かないでください、私は墓の中にはいません。雨になって風になって光となって戻ってくるのですから」という世界観と相通じる新しい生命倫理の萌芽がみられる。ここでは「神による創造」ではなく当たり前の事実として生命の再生があるだけである。キリスト教社会が抱えている論理矛盾も経営資本のエゴイズムも実は旧約聖書の「神による世界創造」神話の誤解から端を発している。その世界観の破綻を認めたくない連中が捕鯨反対論を唱え、家畜を食べる生活習慣を改めようとしなくて、自分たちのスタンダードを無理矢理世界に押し広げようとして、国際的な政治的紛糾を引き起している。それを解決する糸口が、この映画の中には提示されている。アバターの世界に足を踏み入れることができるなら、もう二度と現世には戻りたくはないと誰でも思うことであろう。

# 経営の御相談、対応致します。



(五十音順)



## 『中小企業診断協会は 政策提言者たれ』

支部長 工藤 義和

最近、特に地方の中小企業経営者から次のような愚痴を聞くことが多い。

売り上げが伸びない、利益が出ない、税金が高い、等々中小企業をとりまく経営環境の厳しさに言及する。

我々中小企業診断士は、このような時代背景に対してどのように対処すべきなのだろうか。たしかに各種機関が講じる中小企業のための諸施策の施行に、協力するという行動は重要である。しかし、それだけで十分だろうか。

つまり、それだけで地方の中小企業が息を吹き返しているのだろうか。言い換えれば我々のこれまでの必死な活動により、中小企業が劇的に経営回復し、経営者に感謝され支持されているだろうか。

更に言い換えれば、各種機関が提供する中小企業諸政策に携わることで自己満足していなかっただろうか。要するに各種政策案件を形式的に処理することに夢中

で、肝心の企業業績の回復状況には、関心が薄かったということはなかっただろうか。

我が協会が「事業仕分け」の対象になるという事態に直面し、とくに考えさせられる課題である。

今我が国において地方の中小企業の実態に直面し、その内容をきめ細かに把握できている団体が、我が協会以外に存在するだろうか。

だとすれば、我々診断士および診断協会の使命は、ただ単に諸機関の中小企業政策の補助的役割に止まらず、それら各種政策の評価にまで立ち入り、よりよい政策の提言を積極的に行うなど、幅を広げるべき時にきていると思われる。

従って、協会の一組織として政策当局に、中小企業施策について積極的に提言できるような機関の設置が求められよう。

もし我が協会の現場からの提言が、真に的を得たものであれば、政策当局や中小企業経営者たちから信頼を得て、その存在意義が飛躍的に向上するはずである。

そして、このことは我が診断協会会員の個々の資質の高さからみて、十分機能するものと思っている。



くま い はる み  
熊 井 春 美

生 年 1950年2月

事業所名 株式会社 いなにわ

保有資格 中小企業診断士

実践分野 いなにわグループ主宰

業 歴 1975.4 中小企業診断士登録

連絡先 〒010-1421

秋田市仁井田本町3-14-25

TEL 018-839-6718

E-mail kuma@cna.ne.jp

座右の銘

「夢なくして計画なし。計画なくして実行なし。実行なくして成功なし。」



さい とう ゆたか  
齋 藤 豊

住 所 秋田市山王七丁目12-2

アクアステージ山王301

事業所 自 営

保有資格 中小企業診断士、起業家支援者(メンター)

得意テーマ

中心商業地の活性化戦略

消費者ニーズに対応した商品構成と販売促進

経営者の考える経営改善と指導助言



さ せ みち のり  
佐 瀬 道 則

事務所名 M. S コンサルティング

事業所所在地 〒010-0013

秋田市南通築地1-1  
ファーストワン築地504

自 宅 〒010-0013 秋田市南通築地14-53

電話・FAX番号 018-834-3037

E-mail msconsul@hotmail.co.jp

ブログ <http://blogs.yahoo.co.jp/michinori1217>

### 自己紹介

昭和53年、株式会社羽後銀行（現在の北都銀行）に入行、平成21年に退職するまで約30年間にわたり地方銀行に勤務した。

平成4年中小企業診断士資格を取得、同時に中小企業診断協会秋田県支部に入会した。現在は、秋田県支部副支部長。

平成21年、北都銀行を退職し独立し事務所を開設。主な業務内容は次のとおり。

#### ①経営コンサルティング

業績管理・業績向上に向け、経営者と「いつでもどこでも繋がっている」関係を構築し、定期的



さ とう よし とも  
佐 藤 善 友

### ■略 歴

1957年生。有限会社ジー・エフ・シー 代表取締役。(財)あきた企業活性化センター（旧：(財)あきた産業振興機構）での20年の勤務を経て2001年5月に有限会社ジー・エフ・シーを設立。中堅・中小企業約1,500社に対して、経営戦略立案、BSC(バランス・スコアカード)導入指導、ビジネスプラン作成、情報システム構築、業務改善指導等のコンサルティングを実施。また、企業や病院、自治体等の幹部社員・職員への「経営戦略構築・展開・管理による強い組織づくり」のコンサルティングで多くの実績を持つ。その一方、中小企業基盤整備機構 中小企業大学校や各県中核的支援機関や教育機関、商工団体・経営者団体が主催する講演やセミナー講師としての年間活動日数は約100日にのぼる（講演実績等の詳細はホームページ

な訪問と面談により経営全般へのきめ細かいアドバイスを行っている。

#### ②まちづくり支援

秋田商工会議所「まちづくり起店強化モデル事業」コーディネーターとして、県内3地域に駐在するスタッフの取りまとめと事業全般の運営に従事している。また(株)全国商店街支援センター支援パートナーとして、全国の商店街活動全般の支援及び個店指導を行う専門家として登録している。

#### ③人材育成・研修

農商工連携、経営革新、創業支援、介護ビジネス、アグリビジネスのほか、各種セミナーや講演会での講師活動、各種計画策定支援を実施している。

#### ④企業再生支援

中小企業支援協議会を中心に、事業デューデリジェンス、企業再生計画策定支援を行っている。

#### ⑤県政関係

秋田県産業経済労働部「新サービス産業分科会」の委員長として各種提言の取りまとめを行っている。

#### ⑥商工調停士

湯沢商工会議所の商工調停士として、各種相談業務に従事している。

#### ⑦その他

経営者・学生・消費者向け一般講演会、商工団体主催経営相談会相談員、などは随時対応している。

<http://www.gfcweb.info/> に掲載)

### ■主なコンサルティング分野

「3年後を見据えた明日を切り開くために、今日からでも実行できる具体的なコンサルティング」を基本コンセプトに過去20年間のコンサルティングで培ったノウハウを組み合わせ、お客様の経営状況に合わせた実施項目を具体的にご提示し、お客様と一緒に改革・改善に取り組みます。あるべき姿を大胆に考え、実施事項を詳細に組み立て実行するのがGFCのコンサルティングです。

- (1) 経営戦略・経営計画の立案・指導
- (2) 創業者に対するビジネスプラン作成指導
- (3) 企業再生診断・指導
- (4) 経営情報システムの構築指導
- (5) 多角化、出店・多店舗化、M&A等の経営革新・改革・改善に関する指導
- (6) 作業現場における作業方法改善、機械装置等のレイアウト改善、進捗管理、5S導入等の指導
- (7) 小売店の売上拡大、収益拡大のための経営指導・店舗指導

- (8) インターネットを活用したネット販売、業務効率化の指導
- (9) e-CRM(顧客管理)に関する指導
- (10) 経営者並びに幹部社員教育

■取得資格

中小企業診断士、ITコーディネーター、経営品質協議会認定セルフアセッサー、ISMS審査員補

■公的機関委員等

中小企業基盤整備機構チーフアドバイザー・CIO育成アドバイザー、秋田大学工学資源学部 非常勤講師、雇用・能力開発機構秋田センター 新規・成長分野支援アドバイザー、秋田県商工会連合会 経営支援アドバ



とみ の ただ お  
富 野 忠 雄

所属事業所名 (財)あきた企業活性化センター

保有資格 中小企業診断士 (1975年登録)

得意分野 テーマ

経営診断・助言 (工業系)：経営戦略策定、コストマネジメント、組織管理、管理者教育、小集団活動 (5S・TQC) 他

業 歴

1973.4～ 県経営指導課、中小企業経営指導センター、企業支援センターで、経営診断助言業務に、通算26年間従事

2004.4～ 天王町商工会(現潟上市商工会)事務局長

2007.7～ (財)あきた企業活性化センター 非常勤職員

連絡先 E-mail tomino-f@tune.ocn.ne.jp

自己紹介

「志」・「恒」・「識」経営の勧め ゴールなき課題解決活動

☆志あり乎

経営課題を解決し続けるためには、企業の進むべき方向を経営戦略や長短経営計画の形で全社的に共有することが不可欠です。自社事業ドメインの定義、SWOT分析、基本戦略の抽出、戦略をBSC等の手法



なり た ひろ き  
成 田 広 樹

生 年 1976年6月

所属事業所名 高井会計事務所

イザー、秋田商工会議所 商工調停士・シニアアドバイザー、秋田県農業会議 農業経営改善コンサルタント、秋田市中心市街地出店促進補助審査委員会委員 他。

■著書

『分かる戦略！できる戦略！～BSC活用による戦略構築の16ステップ～』 発行所：イー・ピックス出版

■連絡先

有限会社 ジー・エフ・シー

〒010-0904

秋田市保戸野原の町8-14 レジデンス最上105

TEL:018-896-7429 FAX:018-896-7847

E-mail:gfc@gfcweb.info URL:http://www.gfcweb.info/

を用いて戦術にブレークダウンし、経営資源の集中と選択を実践します。

☆恒あり乎

経営戦略や長短経営計画を承けて、課題解決システムの整備、組織体制の整備が必要です。このステップでは、①戦略をブレークダウンし、さらに戦術をアクションプランに落とし込んでPDCAサイクルを回す、②指示命令機能の活性化を図る、③共通のモノサシによるコミュニケーションの強化を図る、が必要になります。PDCAの組織徹底と、共通のモノサシとしてのコストマネジメントを実践します。

☆識あり乎 葦の髄からは天井は覗けません。

組織体制の整備と同時進行で、管理・監督者のレベルアップ、言い換えると、現場レベルでの課題解決推進能力の向上を図ります。5S活動やQC活動等の実践的活動を通して、「知識」から「知恵」に変えて一現場の手足の動きで以って、具体的に改善して一参ります。管理者は常に自己研鑽に努め、目的志向の対応を致します。目指すべきものは、「問題解決型」から「問題発見型」へ、更に「課題形成型」から「課題創出型」へと、スピードを伴う管理者視点の変革の促進です。実践的課題解決活動の中で、管理者の視点が変わり、決断が早くなり、自律的課題解決型組織への進化を期待します。現状を否とし、変革を求めて止まない意識の浸透がポイントです。

保有資格 中小企業診断士

得意分野 財務戦略、企業再生、ベンチャービジネス

業 歴 2003.9 中小企業診断士登録

連絡先 〒010-0921

秋田市大町6-3-22-301

TEL 018-866-8551

E-mail h\_narita@plala.or.jp



ひ ぐち きよ ゆき  
樋 口 清 行

生 年 1951年2月  
事業所 自 営  
保有資格 中小企業診断士  
得意分野 経営基本と意思決定、従業員教育等

業 歴 昭和57年4月 中小企業診断士登録  
商工会連合会で経営指導員、専門経営指導員を歴任全ての業態に精通

連絡先 〒014-1201  
仙北市田沢湖生保内字浮世坂114  
TEL/Fax 0187-43-1354  
E-mail dogenzen@hana.or.jp

座右の銘 「照顧脚下」いま、ここ、自分をみつめる。



むら かみ あきら  
村 上 明

生年月日 1949年5月6日  
連絡先 現住所 〒010-0041  
秋田市広面字土手下14-1  
電話番号 018-835-0738  
勤務先 有限会社 アイム 代表取締役  
住所 秋田市広面字土手下14-1  
電話・FAX 018-835-0788  
E-mail info@aim-iso.com  
専門分野 企業の人材教育、経営理念・経営戦略、品質管理、ISO認証支援

得意分野

- ・中小企業診断士（登録平成4年）として、独立し（平成12年）現在（社）中小企業診断協会 秋田県副支部長である。
- ・（財）あきた企業活性化支援センターの専門指導員登録、また青森県、岩手県の支援センターの専門指導員でもある。その他、秋田県職業能力開発センター講師、秋田県商工会連合会エキスパート登録、経営全般、能力開発、職場環境改善指導を得意としている。

- ・保有資格は、中小企業診断士、ISO9001(品質マネジメントシステム)主任審査員、ISO14001(環境マネジメントシステム)審査員、ISO22000(食品安全マネジメントシステム)審査員補、宅地建物取引主任者等
- ・ISO9001(品質マネジメントシステム)、ISO14001(環境マネジメントシステム)の認証支援は、約10年60数社の依頼を頂き認証登録に至っている。また、審査機関の審査員として年間を通じて、約100社前後の品質、環境、複合審査をお引き受けしている。
- ・公的なお手伝いは、独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構の雇用アドバイザー、財団法人建設業振興基金の建設業経営支援アドバイザーとして、ご相談に応じている。

自己紹介

25年間秋田県の某団体に勤務して、県内企業の設備投資サポート、取引推進、商店街活性化等に取り組んだが、50才を機会に再出発のため独立して、主に関東以北の企業様からのご依頼を頂き、ISO認証取得支援を中心にビジネス展開をさせて頂いています。お陰さまで、県内企業の方からも、ご依頼を頂き忙しい毎日を送っています。ご相談が有れば、E-mailでの相談は無料で応じていますので遠慮なくご連絡下さい。



やま ざき こう じ  
山 崎 孝 二

生 年 1947年7月  
所属事業所名 (財)あきた企業活性化センター

保有資格 中小企業診断士  
得意分野 経営全般  
業 歴 2001.4 中小企業診断士登録  
連絡先 〒010-0966  
秋田市高陽青柳町9-23  
TEL 018-823-7993  
自己紹介 「誠」



# ● 支部会員一覧 ●

(五十音順)

氏名	所属等	特記 連絡先等	氏名	所属等	特記 連絡先等
荒牧 敦郎	㈱秋田銀行	artnk@nifty.com	佐藤 善友	(有) G F C	gfc@gfcweb.info
石川 聡	㈱秋田銀行	ishisato@cna.ne.jp	杉山 誠一	㈱秋田銀行	ntntn59792@ybb.ne.jp
植竹 康朋	日本通運(株)	vyfo1075@nifty.com	高橋 彦	㈱秋田銀行	cocoakiayut@yahoo.co.jp
工藤 義和	工藤事務所	TEL 0182-32-9237	富野 忠雄	(財)あきた企業活性化センター	tomino-f@tune.ocn.ne.jp
熊井 春美	いなにわグループ	kuma@cna.ne.jp	成田 広樹	高井会計事務所	h_narita@palette.plala.or.jp
栗林 祐治	㈱北都銀行	kuririn@topaz.ocn.ne.jp	畠山 俊彦	㈱北都銀行	te4yi4bma.biglobe.ne.jp
小池 徹也	㈱北都銀行	gaki1028@yahoo.co.jp	畑沢 健	㈱北都銀行	hatazawa@f4.dion.ne.jp
斎藤 豊	自 営	TEL 018-867-1687	樋口 清行	自 営	dogenzen@hana.or.jp
佐々木 正記	㈱北都銀行	sasaki1114@nifty.com	古木 智	北都総研(株)	qq6t5qqd@sirius.ocn.ne.jp
佐瀬 道則	M.Sコンサルティング	msconsul@hotmail.co.jp	堀 辰生	秋田市役所	xwfpt817@yahoo.co.jp
佐藤 幸治	自 営	TEL 0184-35-4595	三浦 雅人	㈱秋田銀行	masato-m@cna.ne.jp
佐藤 徹	秋田県庁	satou-tooru-0878@pref.akita.lg.jp	村上 明	(有) アイム	a-murakami@aim-iso.com
佐藤 直伸	㈱秋田銀行	nyrtn2525@cna.ne.jp	山崎 孝二	(財)あきた企業活性化センター	TEL 018-860-5610

## 会員近況報告

み うら まさ と  
三 浦 雅 人

生年月 1975年1月  
勤務先 株式会社 秋田銀行  
営業支援部・地域活力開発室  
保有資格 中小企業診断士  
1級ファイナンシャルプランニング技能士  
得意分野 財務  
連絡先 勤務先に同じ (TEL 018-863-1212代)  
モットー 虚心坦懐

中小企業大学校診断士養成課程(55期)を修了し、平成17年11月に診断士の資格を得たのち、現在の職場で約4年半勤務しております。銀行のお取引先様の経営支援のため営業店の担当者とともに個別に訪問するほか、銀行の「ソリューション営業(課題解決型営業)」の施策立案・運用にかかわっております。22年6月には、銀行内に新設された「地域活力開発室」に所属し、個々のお取引先様だけでなく、地産商品の販路拡大や「町おこし」など、地域全体の活性化のために地元金融機関として様々な取り組みも行ってまいります。

### 編集後記

今回はプロコンの方の紹介記事が紙面の大半を占めています。他の紙面の割り振りの少ない有資格者の方々は、比較的自己顕示欲の希薄な人柄ですが、その識見、診断経験の蓄積には刮目して待つべきものが多いとあります。

論語の一説に「己立たんと欲して人を立て、己達せんと欲して人を達す」という詞にあるように、編集者としては利他の志を供にする会員諸氏の活躍の機縁となる場を、紙面を開放してその活動や研究の一端を垣間見るような斬新な切り口による投稿を大いに期待しているところです。  
(編集委員長代行 樋口 清行)